

「福島復興への責任を果たすために」

～ 福島復興へ向けた取り組み ～

TEPCO

〔第17版〕

目次・本資料(写真集)について

1. 福島復興本社について〔福島復興本社代表あいさつ、組織体制〕	2
2. 福島復興本社の歩み	3
3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向	4～6
4. 福島復興本社の2023年度の主な取り組み予定	7
5. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生・復興推進活動】	8
6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】	9～12
7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】	13～17
8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】	18～29
9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要	30
10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み	31～32
11. 東京電力廃炉資料館	33
12. 福島復興へ向けた活動実績	34～36
(参考) 福島復興へ向けた取り組み“アーカイブページ”のご案内	37～38

本資料(写真集)について

本資料は、福島復興本社設置(2013年1月)以降、代表定例会見等でお知らせしている各取り組みについて改めてとりまとめました。掲載内容は、ある程度コンパクトに編集しておりますので、本資料の最後にご案内しております当社HPからも是非ご覧ください。

1. 福島復興本社について

福島復興本社代表あいさつ



<高原 一嘉>



<秋本 展秀(次期代表)>

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故から13年余りが経過しました。今もなお、発電所周辺地域の皆さま、福島県の皆さま、そして広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

昨年は、中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償やALPS処理水の海洋放出の開始、さらに地域の復興に目を向けますと、帰還困難区域のうち、特定復興再生拠点区域の避難指示解除が全て完了するなど、当社にとっても、地域の皆さまにとっても大きな動きがありました。

そうしたなか、さまざまな問題や課題に対して、「福島への責任を果たしていく」という強い使命を胸に、福島復興本社を挙げて取り組んでまいりました。

私はこのたび、福島復興本社代表を退くこととなり、4月からは上席フェローの秋本を新たな代表として迎えます。私の役職は変わりますが、引き続き福島復興本社に身を置いて、福島の復興に力を注いでまいります。

新体制になりましても、「福島への責任を果たす」ことが我々の使命であり、原点であることに変わりありません。引き続き、グループ一丸となって福島復興に向けて取り組んでまいります。

2024年3月
福島復興本社代表 高原 一嘉

福島復興本社の組織体制

福島本部

主な業務：各所と連携した地域対応、廃炉資料館の運営、復興本社代表補佐
設置箇所：双葉町（双葉町産業交流センター・総括箇所）、富岡町、福島市

主な業務：国、自治体と連携した復興本社の施策立案、諸計画策定、地域のみなさまからのご要望への対応策の立案
設置箇所：東京都（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）等

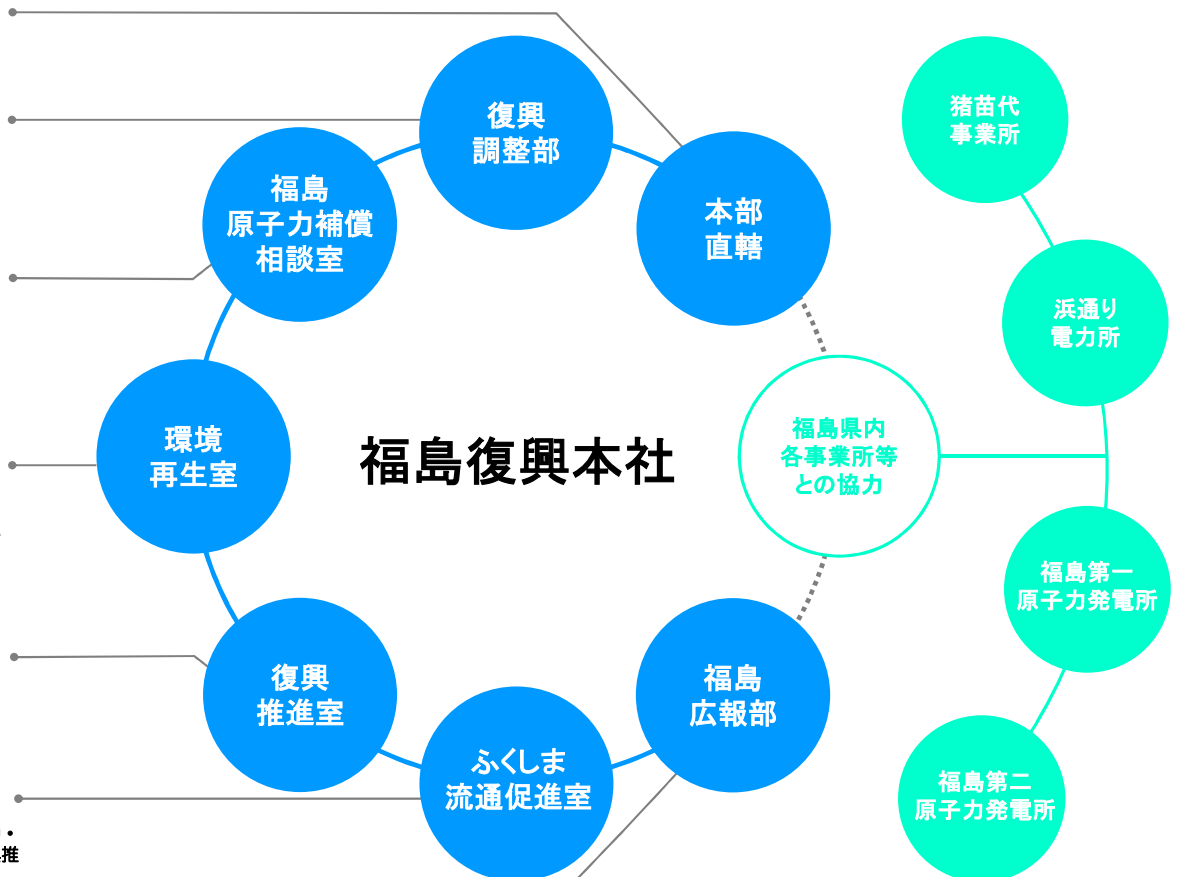
主な業務：賠償業務（円滑かつ早期の貫徹）
設置箇所：いわき市（総括箇所）、福島市、郡山市、会津若松市、南相馬市、仙台市等

主な業務：環境再生業務（国・自治体の実施する除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業再生、リスクコミュニケーション、再エネ施策に関わる支援）
設置箇所：福島市（総括箇所）、いわき市、南相馬市、富岡町、東京都

主な業務：復興推進活動業務（帰還や地域の復興に向けた除染・屋内片付けや営農再開へのお手伝いなどの取り組み）
設置箇所：富岡町（総括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）、浪江町、楢葉町、南相馬市等

主な業務：福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み
設置箇所：東京都（総括箇所）、福島市

主な業務：広報業務（県内の原子力・火力・水力発電所ならびに賠償・環境再生・復興推進の状況の広報活動等）
設置箇所：福島市（総括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）



2024年4月1日時点

2. 福島復興本社の歩み

- 2011年3月31日 福島原子力被災者支援対策本部を設置しました。
- 2013年1月に上記を改編し、福島復興本社を設置以降、一層地元に着目して福島復興の責任を全うし、地域に貢献するため活動しております。



- 2013年1月1日に福島県双葉郡のJヴィレッジに福島復興本社を設置
- 当社復興推進業務等の拠点であると同時に、廃炉作業の前線基地としても使用



- 2016年3月7日より、福島県双葉郡富岡町にある当社基幹事業会社、東京電力パワーグリッド株式会社の浜通り電力所内に移転
- 避難指示解除や地域の皆さまの帰還に先駆け移転し活動を開始



【関係施設】アーカイブ施設の設置

- 2018年11月30日、福島県双葉郡富岡町にある当社エネルギー館を改装し、東京電力廃炉資料館を開館
- 福島第一原子力発電所事故の記憶と記録・反省と教訓そして廃炉事業の現状などを社内外に伝承することを目的に設置



- 2020年10月26日より、福島県双葉郡双葉町の双葉町産業交流センターへ移転

地域の復興・帰還に先立ち、浜通り地域に機能・要員を集中



3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向
2011	3月	東日本大震災・福島第一原子力発電所事故	
	3月		福島原子力被災者支援対策本部の設置
	4月		仮払い補償開始
	8月		● 「走行モニタリング」開始
	9月		本賠償開始
	11月		● 福島県産品販売会の開始(社内) ※社外は2013年9月から開始
	12月		● 中長期ロードマップ策定
2012	7月	国直轄地域の除染開始	
	11月		● 常磐自動車道路除染工事に対応 復興本社移転はP.3参照
2013	1月		福島復興本社の設置(Jヴィレッジ)
	5月		● 福島県外からの社員派遣開始
	6月		● 入退域管理施設移転 (Jヴィレッジ→福島第一原子力発電所)
2014	1月		新・総合特別事業計画認定
	4月	田村市都路地区	・原子力損害賠償「3つの誓い」 ・除染推進「国が実施する除染作業の加速化への協力」 ・産業基盤や雇用機会の創出
	10月	川内村の一部	
	11月		● ふくしま応援企業ネットワーク発足
	12月		● 4号機使用済燃料取り出し完了
2015	3月	常磐自動車道全線開通 除染土壌等の輸送開始	
	4月		福島給食センター運用開始(大熊町)
	5月		● 帰還後の安心に向けた施策に対応
	6月		● 「見回り活動」開始
	8月		● 避難指示解除前後の地域イベントに対応
	9月	檜葉町	
2016	3月		福島復興本社移転(富岡町浜通り電力所)
	4月		HDカンパニー制移行
	6月	葛尾村・川内村	● 除染土壌等の輸送への技術支援に対応
	7月	南相馬市	
	8月		● 勿来IGCC/パワー合同会社、広野IGCC/パワー合同会社の設立

3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向
2017	1月		● 楡葉町「天神原湿原」再生・保全に対応
	3月	川俣町・浪江町・飯舘村	● 福島送電の設立、新福島変電所の設備改修工事竣工
	4月	富岡町	● サツマイモ栽培・収穫等に協力(楡葉町)
	5月		面的除染完了(国直轄)
	8月		福島復興再生特措法の改正
	12月		新々・総合特別事業計画認定
			● 仮置場の原状回復に向け対応
		● 特定復興再生拠点区域除染工事に対応	
2018	2月		● ふくしま流通促進室の設置
	3月		全ての面的除染完了(帰還困難区域を除く)
	4月		● 陸側遮水壁の運転開始
	5月		● 緑肥栽培試験の実施(農地の地力回復等)
	8月		● 一般作業服エリア拡大(敷地内約96%)
	10月		● LINE公式アカウント「ふくしま応援隊」を開設
	11月		● 「発見！ふくしま」キャンペーンを年1回開催 ● 廃炉資料館の設置
2019	2月		● 2号機原子炉内部調査(デブリ確認)
	4月	大熊町	Jヴィレッジ全面再開
	7月		福島第二原子力発電所の廃炉決定
	10~12月		● 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力
	12月		● LINE公式アカウント「ふくしま応援隊」友だち追加数が100万人到達
2020	2月		● 新型コロナの影響で県外からの復興推進活動への派遣中断
	3月	双葉町	JR常磐線全線再開
		特定復興再生拠点区域の一部※ (大熊町・双葉町・富岡町)※帰還困難区域内	
	5月		● 葡萄園場整備等に協力(川内村)
	7月		● 福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局の設置
	9月		東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の開所
10月		福島復興本社の移転(双葉町 双葉町産業交流センター)	
		● 浜通り廃炉産業プロジェクト室の設置	

3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向	
2021	4月		● 処理水海洋放出の政府方針決定 (以降、当社会見、関係自治体等への説明開始)	
	7月		とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館 FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出開始 (猪苗代水系、中小経年水力発電所設備改修) ● ● 福島復興へ向けた活動実績 累計100万人到達(7/21)	
	8月		第四次総合特別事業計画認定 ● JA全農福島様による2カ国大使館への「福島県産の桃」の贈呈	
	10月	震災遺構浪江町請戸小学校開館	● 除染推進室から「環境再生室」への名称変更	
	11月	※以下、特定復興再生拠点区域 葛尾村 準備宿泊開始	● ● 準備宿泊に向けた生活基盤整備のお手伝い	
	12月	大熊町 準備宿泊開始	● 地質調査開始(海上ボーリング調査)	
	2022	1月	双葉町 準備宿泊開始	● 2号機原子炉格納容器内部調査 ロボットアーム搬入
2月			● 1号機原子炉格納容器内部調査開始	
3月			除染土壌等の輸送完了(96%)	
4月		富岡町 準備宿泊開始	● ● 準備宿泊開始に伴う地域の見回り活動 (葛尾村、大熊町、双葉町、富岡町) ● ALPS処理水希釈放出設備等の設置に係る事前了解を受領 ● 【海外での流通促進の取り組み】 8月タイ(福島県産桃のイベント) 10月ベトナム(梨のイベント) 11月シンガポール(福島県産品と日本酒のイベント) 1月アメリカ(福島県産米の出品) 2月タイ(福島県産食材のPR) 3月アメリカ(福島県産米イベント)	
6月		葛尾村 大熊町		
9月		浪江町 準備宿泊開始 飯館村 準備宿泊開始		
10月		JR只見線全線運転再開		
12月			ALPS処理水の放出に伴い風評被害が発生した場合の賠償基準を公表	
2023		1月		廃炉資料館 来館者数10万人到達 中間指針第五次追補等を踏まえた賠償基準概要の公表
		3月	浪江町	中間指針第五次追補等を踏まえた追加の賠償基準の公表
		4月	富岡町	福島国際研究教育機構(E-REI)設立 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償の受付を開始
		5月	飯館村	
	6月	改正福島復興再生特措法施工	● 海外での流通促進の取り組み ※P.25参照	
	7月		ALPS処理水希釈放出設備の使用前検査の終了証を受領	
	8月		● ALPS処理水海洋放出開始	
	10月		● ALPS処理水海洋放出に伴う相談窓口・訪問拠点の設置 10月:宮城県石巻市、11月:北海道長万部町、紋別市 11月:北海道長万部町、紋別市、大阪府大阪市、福岡県福岡市	
	11月	富岡町(点・線拠点)		
2024	1月		● 2号機燃料デブリ試験的取り出しに向けたX-6ペネ内堆積物除去開始	
	2月			

4. 福島復興本社の2024年度の主な取り組み予定

2024年

■: 環境再生活動

■: 復興推進活動

■: 流通促進活動

■: その他活動

- ■ 特定復興再生拠点区域(以下「拠点区域」という)の避難指示が解除された地域などでの生活基盤整備のお手伝い ※年間を通して実施予定
- 放射性物質汚染対処特措法に則り国・自治体を実施する除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクル等に係わる事業の人的・技術的協力 ※年間を通して実施予定

春

- 春の地域イベントのお手伝い

(予定)
4/6 春の坂下ダムウォーキング
4/6~7 夜の森桜まつり2024
5/25~27 相馬野馬追

- 「発見！ふくしま」春の販売イベント

4/12~14 パエリア・タパス祭り2024(神奈川県)でのキッチンカーや
ブース出店
5/18~19 道の駅ふくしま(福島県) 常盤ものPR



海外での流通促進の取り組み



ふくしまの桃販売

夏

- 「発見！ふくしま」ふくしまの桃の販売会(7月~9月)

- 夏の地域イベントのお手伝い

- お盆・お彼岸に向けた墓地除草のお手伝い



墓地除草のお手伝い

秋

- 「発見！ふくしま」キャンペーン(10月~12月)

- 営農再開に向けたお手伝い

- 秋の地域イベントのお手伝い



営農再開に向けたお手伝い



「発見！ふくしま」キャンペーン

2025年

冬

- 「発見！ふくしま」新年の福袋販売イベント

- 新年の地域イベントのお手伝い



福袋販売イベント



地域イベントのお手伝い

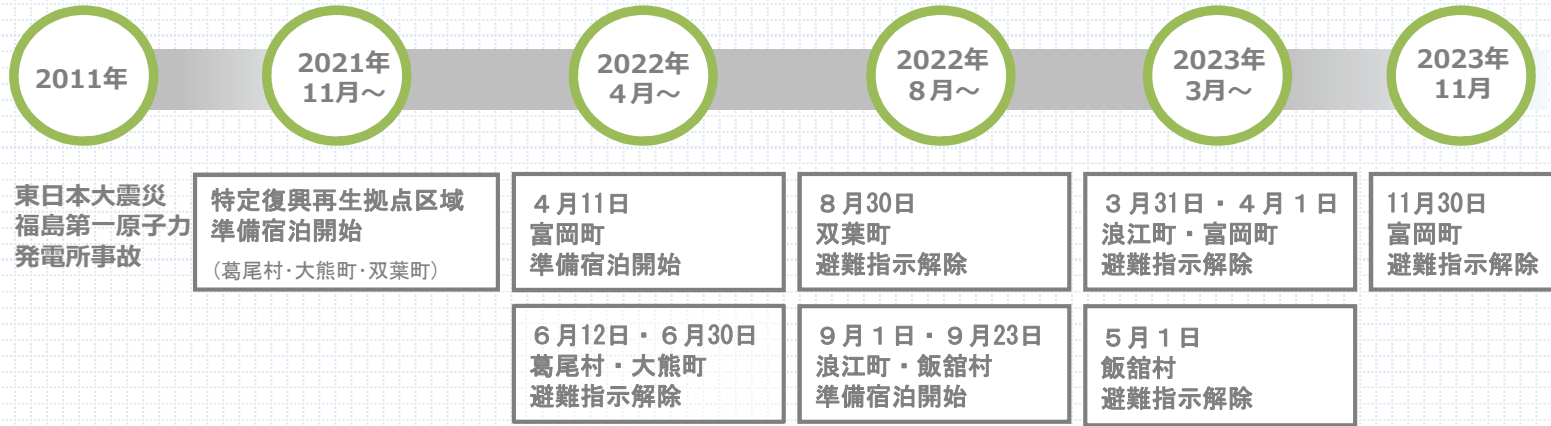
「福島への責任の貫徹」を胸に、社員一丸となってその使命を果たしてまいります。

5. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生・復興推進活動】

特定復興再生拠点区域の避難指示解除に向けた取り組み

取組内容

- 3月に浪江町、5月には飯舘村、4月と11月には富岡町における特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、6町村に設定されていた同区域の避難指示解除が全て完了しました。
- 避難指示解除へ向けた環境整備が進む特定帰還居住区域も含め、今後も自治体や地域の皆さまのお声を伺いご相談しながら、復興への取り組みを継続してまいります。



特定復興再生拠点区域における当社の取り組み状況



大熊町

定点サーベイ



大熊町

屋内片付けのお手伝い



双葉町

進入路除草のお手伝い



富岡町

見回り活動※(お声掛け)

※ 見回り活動：当社が町村内を巡回し地域の方々にお声がけし、除草や片付けなどのお手伝いを実施

6. 福島復興へ向けた取り組み 環境再生活動

富岡町内におけるモニタリング対応

取組内容

- ▶ 環境省からの要請をいただき、2023年6月～11月に富岡町内において、除染作業に伴うモニタリング等を実施しました。



定点サーベイの様子



歩行サーベイの様子

- 富岡町は2023年11月30日に特定復興再生拠点区域における避難指示が解除され、2024年度から特定帰還居住区域の除染が開始される予定です。
- お戻りになれる住民の皆さまが少しでも安心して生活できるよう、様々な除染に関わる要請に対し、人的・技術的協力をしてまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み 【環境再生活動】

大熊町における営農再開に向けた取り組み

取組内容

- 大熊町のご依頼により、町の営農再開に向け、当社は今年もお米とサツマイモ栽培のお手伝いを行っております。
- サツマイモ栽培では、苗植えから収穫までの作業のほか、「学び舎ゆめの森」に通う児童の皆さまの収穫体験のお手伝いも行いました。

お米の栽培のお手伝い（熊地区）



5月12日 田植え

お米の栽培のお手伝い（中屋敷地区）



10月13日 稲刈り

サツマイモ栽培のお手伝い（大川原地区）



5月12日 苗植え



10月12日 収穫体験

- 取り組みを通じて、大熊町での営農再開に向けた一助となるよう、今後もお手伝いを続けてまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

「大熊町環境情報サイネージ」コンテンツリニューアルの協力

取組内容

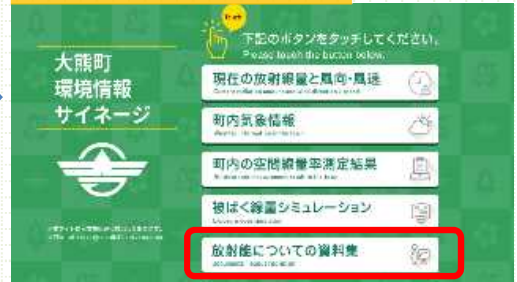
- ▶ 大熊町が管理する「大熊町環境情報サイネージ※(電子掲示板)」のコンテンツリニューアルに伴い、当社は「ALPS処理水」について、新たなコンテンツの作成を行いました。

※「大熊町環境情報サイネージ」・町内に設置されたモニタリングポストの測定値や放射線関連のコンテンツを表示し、環境放射線の状況をお伝えするタッチパネル式の電子掲示板

デジタルサイネージの設置状況とTOP画面



デジタルサイネージTOP画面



出典：大熊町サイネージ公式ホームページ (okuma-signage.jp)

大熊町環境情報サイネージのメニュー画面

・2023年6月 コンテンツリニューアル

【放射性物質・放射能について、より深く知るための解説案】

- 多核種除去設備 (ALPS)
- 告示濃度限度と告示濃度比較表
- ALPS処理対象核種 (62核種)
- 処理水の概念の変遷
- トリチウムの除去
- ALPS処理水の海洋放出-概要-
- ALPS処理水の海洋放出-工程ならびに安全対策の詳細-
- ALPS処理水の海洋放出-海洋モニタリング-
- ALPS処理水の海洋放出-風評への対応-
- ALPS処理水が生物に与える影響

当社が担当したコンテンツ

出典：大熊町サイネージ公式ホームページ (okuma-signage.jp)

- 当社はこれまでの知見を活かしながら関係者の皆さまと協力し、町が取り組む情報発信や放射線に関する理解活動に継続して協力してまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

ALPS処理水に関するコミュニケーション活動

取組内容

- 7月29日、30日に東京都の科学技術館で行われた「青少年のための科学の祭典」において、ALPS処理水の理解醸成を目的として、イベントブースを出展しました。
- イベントでは、分子模型づくりを体験いただき、トリチウムが「自然界でも作られていること」、「多くは水として私たちの身近にも存在していること」などを丁寧に説明しました。



ふわふわ分子模型づくり体験



分子模型を用いてトリチウムを説明



分子模型

色違いの綿を原子に見立て、トリチウム水などの分子構造を表現しました。



パンフレット「よったんのギモン」の配布

トリチウム、放射線、ALPS処理水を会話形式・図解で伝える社員手製のパンフレットを配布しました。

- 当社は今後も様々な機会を通して、ALPS処理水に関する理解活動を実施してまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

春・夏の取り組み ～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- ▶ 富岡町で「富岡町桜まつり2023」が開催され、廃炉の状況や復興推進活動を紹介するブースを出展しました。また、来場者の誘導や会場内の片付けのお手伝いを行いました。
- ▶ 双葉町で13年ぶりに町内で「双葉町盆踊り」が開催され、地域の皆さまと一緒に会場設営などのお手伝いを行いました。

富岡町「富岡町桜まつり2023」【4月8日(土)・9日(日)】



桜並木のライトアップ(4月1日)



廃炉ロボットの模擬体験

双葉町「双葉町盆踊り」【7月15日(土)】



イベント会場



櫓の組み立て

- 「富岡町桜まつり2023」では、廃炉に向けた当社の取り組みを多くの方々に深く知っていただくため、資源エネルギー庁さまと共同でブースを出展し、ALPS処理水希釈放出設備のジオラマの展示や廃炉ロボットの実演を行いながら、丁寧にご説明をさせていただきました。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

環境美化活動を通じた地域コミュニティへの参加

取組内容

- 富岡町、広野町で町内の環境美化活動として「花いっぱい運動」が行われ、檜葉町では「春のクリーンアップ作戦」が開催されました。
- 当社は、地域の皆さまと一緒に町内の花植えや清掃に参加させていただきました。

「花いっぱい運動」【富岡町 6月4日(日)】【広野町 6月10日(土)】



マリーゴールドの花植え



サルビアの花植え

檜葉町「春のクリーンアップ作戦」【6月4日(日)】



開会式



町内清掃

- 「花いっぱい運動」は、各行政区長さまをご訪問した際にお声掛けいただいたことなどがきっかけで、参加させていただきました。
- 今後も地域の皆さまとのコミュニケーションの機会を大切にしながら、地域の環境美化に向けた取り組みを継続してまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

お盆・お彼岸時期の取り組み ～墓地除草～

取組内容

- 2013年から自治体や地域の皆さまからのご依頼により、お盆、お彼岸前に墓地の除草作業を継続して実施しています。
- 今年度も地域の皆さまが安心してお墓参りができるように、墓地構内や進入路、駐車場の除草を行いました。



墓地構内の除草



墓地構内の除草



墓地構内の除草



蜂トラップ取り付け※

※ 蜂トラップ：巣作りを始める女王蜂を捕獲するための装置で、設置した周辺に営巣させない効果が期待できる

- 除草作業では、墓石回りに傷をつけないよう、作業場所に応じてナイロン製の刈り払い機の刃や剪定ばさみ、手鎌を使用するなど、丁寧に作業しています。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

秋の取り組み～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- 浪江町、川内村で秋の地域イベントが開催され、駐車場誘導やイベントブースの運営などのお手伝いを行いました。
- 当社ブースを出展させていただいたイベントでは、廃炉の状況やALPS処理水海洋放出設備の概要、復興推進活動の取り組みなどをご紹介します。

浪江町「十日市祭」【2023年11月18日（土）～19日（日）】



屋内ステージ



廃炉の状況や復興推進活動のご紹介

川内村「かわうち祭り～秋の陣～」【2023年11月5日（日）】



メインステージ



資機材運搬

- 地域の活性化や交流人口の拡大には欠かせないイベントに参加させていただくなど、自治体や地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、復興推進活動を続けてまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

冬の取り組み～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- ▶ 大熊町、双葉町、浪江町で新年のイベントが開催され、イベントの企画に参加したり、久しぶりの再会を喜ぶ皆さまで会場は活気と賑わいに溢れておりました。
- ▶ 当社はイベントの企画運営や事前の会場設営、清掃作業、駐車場誘導などのお手伝いを行いました。

大熊町「里がえりもちつき大会2024」 【2024年1月7日（日）】



新成人による餅つき

双葉町「双葉町ダルマ市2024」 【2024年1月6日（土）～7日（日）】



ダルマ神輿



汁餅の配膳（実行委員）



駐車場誘導



駐車場のライン引き



駐車場誘導

浪江町「新年あるけあるけ初日詣大会」【2024年1月1日（元旦）】



スタート地点の道の駅なみえ



請戸海岸で復興祈願



請戸海岸の清掃

- 各地域でご帰還に向けた整備が進められるなか、当社としては引き続き自治体や地域の皆さまのご要望をお伺いしながら、地域のお役に立てるよう取り組みを継続してまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



百貨店やスーパー等での「ふくしまフェア」 定期開催

取組内容

- 首都圏の百貨店にて、福島県産の水産品、牛肉、お米、桃などの販売促進イベントやフェアを開催し、福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。
- 2023年度開催実績：延べ**14,046**日(2024年2月末時点)

水産品の販売催事



クイーンズ伊勢丹様の様子【2024年2月】



サカナバック様の様子【2023年9月】

牛肉の販売催事



ニュー・クイック様の様子【2023年11月】



スーパーズキヤ様の様子【2023年6月】

- ふくしまフェアの開催回数は、年を重ねるごとに増えてきており、催事をとおして福島県産品の美味しさを知り、リピート購入されるお客様も増えてきております。引き続き、福島ファンの獲得に向けて取り組んでまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



お米の販売催事



東武池袋店様の様子【2023年7月】



北野エース様の様子【2023年8月】

桃の販売催事



大丸福岡天神店様の様子【2023年7月】



マルエツ様の様子【2023年8月】



大丸東京店様の様子【2023年7月】



松坂屋様の様子【2023年8月】

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



キッチンカーの出店・マルシェの開催

取組内容

- ▶ 首都圏各地でキッチンカーを出店し、福島県産食材を使用した特別メニューの提供やマルシェを開催し、福島県産品の美味しさや魅力を直接PRしました。
- ▶ キッチンカー実績: 約**53,000**食販売(2024年2月末時点)

キッチンカーの出店



マルシェの開催



- キッチンカーは、駅前やオフィス街、団地などさまざまな場所に出店しており、利用者からは、最寄り駅や近所で福島県産品を味わえることを喜ぶ声など多数いただいております。
- 引き続き、キッチンカー・マルシェを活用して、首都圏各地で福島県産食材の美味しさをPRしてまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



二子玉川ライズギャラリーイベント開催

取組内容

- 二子玉川ライズギャラリー(東京都世田谷区)にて、桃を中心とした福島県産品の販売イベントを開催しました。
- 会場では、ステージイベントやキッチンカーを出店し、福島県産品を使ったメニューを販売しました。
- 販売実績: 桃 約**4,000**個(2日間合計)、新米 約**300**kg(2日間合計)

桃の販売イベント【2023年7月29日~30日】



ステージイベントの様子



キッチンカー出店の様子

新米イベントの開催【2023年11月18日~19日】



福島県産新米販売の様子



キッチンカー出店の様子

- ご家族連れなど非常に多くの方々に「ふくしまの桃」「福島県産新米」を中心とした福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。
- 「福島県産品の桃や新米を都内で買って嬉しい」などの嬉しいお言葉もいただきました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



お魚まつりの開催(11月お台場・2月代々木公園)

取組内容

- お台場特設会場(東京都江東区)と代々木公園(東京都渋谷区)にて、「常磐もの」をPRする大型イベントを開催しました。
- 会場では、「発見! ふくしま」ブースを出店し、「常磐もの」の海鮮丼やパエリアなどを販売しました。

お台場特設会場での開催【2023年11月23日～26日】

実績

来場者：約**17万3千人**、販売食数：約**3万4千食**（4日間合計）



ノドグロ&はねる生エビ入り
ふくしま全部のせ丼

海鮮丼販売の様子

代々木公園での開催【2024年2月22日～25日】

実績

来場者：約**15万人**、販売食数：約**2万6千食**（4日間合計）



当社ブースの様子



小名浜さんまの塩焼き



いいいて雪っ娘かぼちゃ入り
常磐ものアンコウパエリア

- お台場では、初めての開催でしたが、多くの皆さまにご来場いただきました。
- 代々木公園では、期間中小雨が降る日もありましたが、晴天に恵まれた24日(土)は、1日の来場者や販売食数が過去最高の結果となりました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



福島県内での販売促進への取り組み

取組内容

- 福島県内の各施設で「発見！ふくしま」によるイベントを開催しました。
- 県内事業者の皆さまと協力し、キッチンカーなどによる「常磐もの」などを使ったメニューを提供しました。



福島市 四季の里(2023年5月)

道の駅ふくしま(2023年5月)



郡山市 21世紀記念公園(2023年8月)

南相馬市 北泉海浜公園(2023年9月)

- 大変多くの方にお越しいただき、福島県産食材を使ったメニューをご堪能いただきました。
- また、「発見！ふくしま」公式キャラクターめっつけちゃんも登場し会場を盛り上げました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



全国各地での販売促進への取り組み

取組内容

- 全国主要都市にて、イベントへの出店やフェアを通じて「常磐もの」をはじめとする福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。
- 「発見! ふくしま」ブースを出店し、キッチンカーなどによる「常磐もの」などを使ったメニューを提供しました。



常磐もの海鮮丼全部のせ
メガ盛り



大阪万博記念公園「お魚まつり」(2023年3月)



広島フラワーフェスティバル(2023年6月)



札幌 丸井今井札幌店でのフェアの様子(2023年11月)

福岡県 博多駅前でのフェアの様子(2024年3月)

- 西日本エリアをはじめとした、全国各地のイベント会場にも多くの方にお越しいただき、福島県産メニューを買い求めるお客さまの列も途切れることなく、大変好評でした。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



海外の販売促進への取り組み

取組内容

- 国内のみならず、海外の皆さまへも福島県産品の美味しさや魅力を発信するために海外での催事を行いました。
- 実績： 海外 **9** カ国で **14** 回開催（2024年2月末時点）



ロンドン・ジャパン祭り(2023年10月)



シンガポール「Food Japan2023」(2023年10月)



タイ・バンコク「JAPAN SELECTION 2024」(2024年1月)



ラスベガス「Winter Fancy Food Show 2024」(2024年1月)

- 海外への取り組みは、昨年度より開始しましたが、当初に比べ、開催国数も増えてきており、どのイベントも好評をいただいております。
- 今後も、福島県産品の販売促進イベントを積極的に展開し、福島県産品の美味しさや魅力を世界に発信してまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



福島県産品オンラインサイト「ふくしま市場」でのキャンペーン

取組内容

- 福島県産品の通販サイトとして最大級の「ふくしま市場」と連携して、「春・夏」と「秋・冬」の2回購入促進キャンペーンを実施しました。
- 実績：「春・夏」約**16,000**点、「秋・冬」約**9,300**点販売

春・夏キャンペーン(2023年6月1日～7月17日)

秋・冬キャンペーン(2023年11月1日～12月17日)

- 春・夏には「桃」、秋・冬には「新米」を中心に、「福島牛」や「水産品」など、日本全国のお客様から、多くの商品をお買い求めいただきました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



ふくしま応援企業ネットワーク（2014年11月発足）

※当社が事務局を務める

取組内容

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を見送っていたJヴィレッジでの「定時総会」を4年ぶりに開催しました。
- ▶ 会員企業様によるキッチンカーや特食・ふくしま弁当の利用拡大、マルシェの開催やECサイトでの福島県産品の購入など様々な活動を実施しました。



参集型定時総会【Jヴィレッジ】



定時総会終了後のJヴィレッジ施設見学



定時総会翌日の視察会【福島水素エネルギー研究フィールド】



会員企業敷地でのキッチンカー【奥村組様】



社員食堂での特食【西松建設様】



企業内マルシェ【フジタ様】

ふくしま応援企業ネットワーク
専用ECサイト
常盤もの等応援キャンペーン

「発見! ふくしま」 「贈の味」をご賞味ください。
※私たちの福島産の農産品と海鮮・畜産品を応援します。
※福島県産品に限定し、一部を除く。

「常盤もの」あんこう鍋セット **限定200セット**
いわがきを代表する冬の味覚「あんこう鍋セット」になります。
濃厚な味わいの特入りスープが付いているお肉まみりのお刺身の
お弁当と一緒にお輸で頂くご贈儀と一緒に堪能してください。

【商品情報】
切身×2、たれ×2

JAライフクリエイト福島様とコラボした
「発見! ふくしま」定期便

● 今後も更なる会員企業様の活動拡大に向けて、様々なサポートに取り組んでまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



福島県産品の取り扱い量拡大に向けた理解活動

取組内容

- 首都圏の流通関係者や小売・飲食店関係者の方々を中心に、福島県産食材の安全性と美味しさや魅力をお伝えする意見交換会や、希望者を対象とした福島県内での産地見学会を実施しました。
- 開催実績 2021年からスタートし、延べ約**120**回開催、約**550**名参加

意見交換会の様子（2023年度）



ヘッドマウントディスプレイでの映像視聴



「常磐もの」の試食

産地見学会の様子（2023年12月）



廃炉資料館



ワンダーファーム



笹の川酒造

- 意見交換会では、「ALPS処理水の安全性について理解が深まった」等の感想をいただいています。
- 産地見学会では、福島県の農場や酒蔵などを訪問し、復興の状況などを見学いただいています。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】

社内における福島県産品販売促進活動

取組内容

- 社員一人ひとりの福島県産品の購入促進に向けて、各事業所で福島県産品の社内販売会を実施しています。
- HD本社では、福島県産品と宮城県産品に併せて国産ホタテの合同販売会を実施しました。



本社「福島・宮城県産品販売会」の様子



EP本社の販売の様子



RP本社の販売の様子



PG渋谷支社の販売の様子

- 2023年度は多くの事業所で対面販売会・予約販売会を実施しました。
- 販売会では、酒、米、野菜、果物、魚介類、肉、麺類、加工品、菓子類など、さまざまな県産品を販売しました。

9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

迅速かつ適切な原子力損害賠償に向けた組織体制

取組内容

- 2023年は、中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償のご請求受付を4月から開始いたしました。また、8月のALPS処理水海洋放出の決定を踏まえ、ALPS処理水放出に関する損害賠償のご請求受付を開始いたしました。
- ご相談窓口やコールセンターでは、賠償に関するお問い合わせやご相談対応、ご請求書の作成支援、受付などを実施しております。

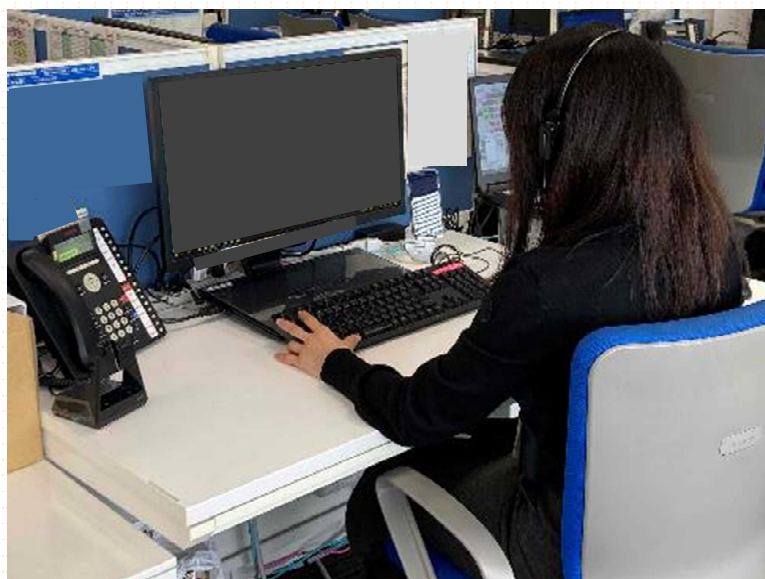
ご相談窓口

- ご相談窓口に関しては、増員や開設日を拡大するなど、体制強化をいたしました。



コールセンター

- コールセンターに関しては、追加賠償やALPS処理水放出に関する損害賠償等に対応するため、体制強化する等して、被害を受けられた皆さまの個別のご事情を丁寧に伺いながら、対応しております。



- 引き続き「3つの誓い」を徹底し、被害を受けられた皆さまへ丁寧に対応しながら、当社原子力事故による損害に対して、迅速かつ適切な賠償を進めてまいります。

10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

構築した事業会社を通じた世界最新鋭の石炭火力発電所の建設・運営

- 2016年10月、三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、常磐共同火力(株)と当社の5社にて「勿来IGCCパワー合同会社」※1と「広野IGCCパワー合同会社」※2による、発電所の建設・運営を実施する事業体制を構築しました。
- 同事業を通じ、建設工事・資材発注および運用後の定期点検などによる産業基盤の創出の推進に貢献いたします。

※1 5社が出資(勿来IGCCマネジメント㈱[途中名称変更]、三菱重工業㈱、三菱電機㈱、東京電力ホールディングス㈱、常磐共同火力㈱)

※2 4社が出資(広野IGCCマネジメント㈱[途中名称変更]、三菱重工業㈱、三菱電機㈱、東京電力ホールディングス㈱)

勿来IGCCパワー合同会社



広野IGCCパワー合同会社



10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

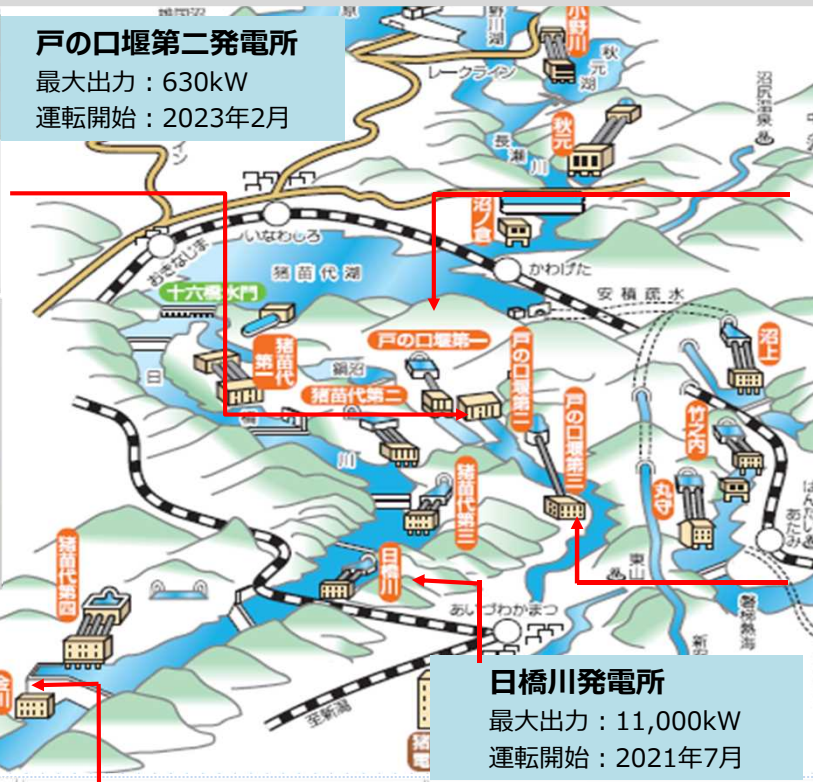
中小経年水力発電所の設備改修

▶ 「新・総合特別事業計画」(2014年1月公表)に基づく福島県内の中小経年水力発電所の継続的設備改修を通じた福島復興に資する取り組みの状況は以下の通りとなります。



戸の口堰第二発電所

最大出力：630kW
運転開始：2023年2月



戸の口堰第一発電所

最大出力：1,490kW
運転開始：2023年8月



戸の口堰第三発電所

最大出力：940kW
運転開始：2023年3月



金川発電所

最大出力：7,100kW
運転開始：2019年10月



日橋川発電所

最大出力：11,000kW
運転開始：2021年7月



県内雇用と資機材調達額の合計

雇用：35,300人
資機材調達額
約26,800万円

FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出

- ▶ 改修後の発電所においてFIT制度(※1)適用に伴い得られた収益の一部を教育・医療等の分野で福島復興の取り組みにご活用いただくよう、拠出しています。
- ▶ 戸の口堰水系三発電所については、年間収益額が確定次第の拠出を予定しています。
※拠出実績：2023年度 1,810万円
※戸の口堰第一、第二、第三発電所の拠出金額・拠出先については未決定(2024年3月時点)

【東京電力グループ】

東京電力
リニューアブルパワー(株)
発電所収益(一部)

東京電力
ホールディングス(株)

拠出

福島県
再生可能エネルギー
復興推進協議会

※1 再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度

11. 東京電力廃炉資料館

■ 設置の趣旨

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、福島第一原子力発電所事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である「旧エネルギー館(福島県双葉郡富岡町)」に設置いたしました。

■ 施設の概要

施設外観



シアターホール



記憶と記録・反省と教訓



廃炉現場の姿



施設概要

名称：東京電力廃炉資料館
所在地：福島県双葉郡富岡町中央三丁目58番地（旧エネルギー館）
開館：2018年11月30日
建物概要：【階層】2階建 【展示面積】約 1,900㎡
施設情報：【開館時間】9:30~16:30 【休館日】毎月第3日曜日・年末年始
【入館料】無料（駐車場無料）



- 今後も、福島第一原子力発電所事故の記憶と記録、反省と教訓、そして廃炉事業の現状などをわかりやすくお伝えすることで、復興に向けた皆さまの安心につながるよう努めてまいります。

12. 福島復興へ向けた活動実績

< 除染等推進活動・環境再生活動 >



これまでの実績 (2024年2月末時点)

※ 福島復興本社設立 (2013年1月) 以降の実績

項目	内容	対応人数実績
除染 (国直轄・市町村) への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約263,700人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約177,900人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約36,500人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約43,000人
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約40,900人
合計		約562,000人

至近1年 (2023年度) の実績 (2024年2月末時点)

項目	内容	対応人数実績
除染 (国直轄・市町村) への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約10,200人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約10,800人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約4,900人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約4,500人
合計		約30,400人

12. 福島復興へ向けた活動実績

<復興推進活動>



これまでの実績（2024年2月末時点）

※ 福島復興本社設立（2013年1月）以降の実績

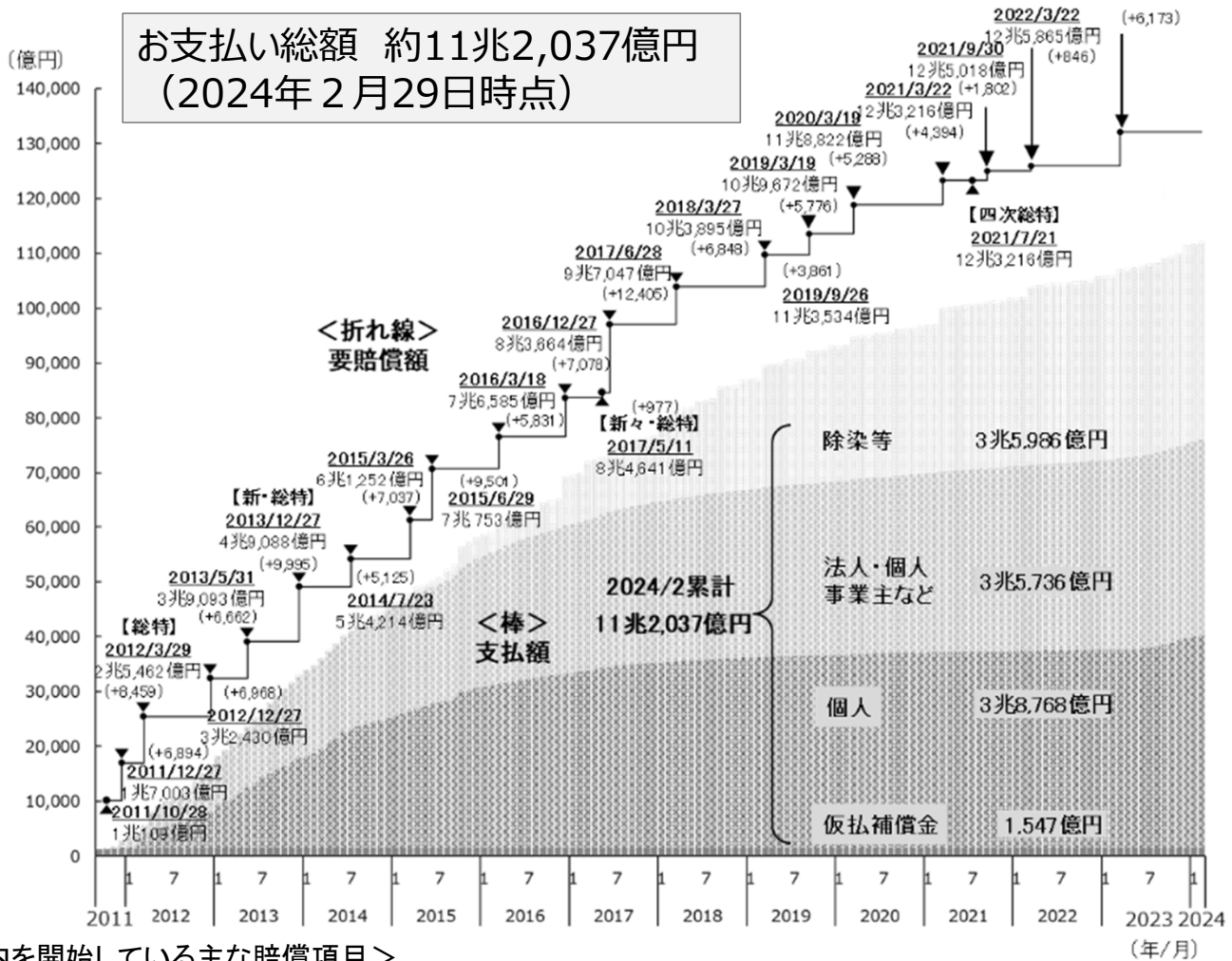
項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約228,500人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約137,600人
イベント	イベント対応等	約22,800人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約115,600人
営農再開等に向けた対応	電気柵設置、用水路の除草等	約29,500人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約53,000人
合計		約587,000人

至近1年（2023年度）の実績（2024年2月末時点）

項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約6,000人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約1,300人
イベント	イベント対応等	約1,500人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約3,400人
営農再開等に向けた対応	電気柵設置、用水路の除草等	約1,700人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約2,100人
合計		約16,000人

12. 福島復興へ向けた活動実績

<原子力損害賠償>



<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用 ・生命、身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2022年		12月:ALPS処理水放出に伴い風評被害等が発生した場合の賠償
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	
2024年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

(参考) 福島復興へ向けた取り組み 「アーカイブページ」のご案内

- 過去の代表定例会見でお知らせした内容は、当社ホームページ内にある福島復興本社専用ページからご覧いただけます。

① インターネットから下記キーワードで検索

東京電力 福島復興への責任



② 福島復興本社のホームページからご覧いただく項目を選択

福島復興への責任

賠償

③ 環境再生

復興推進

福島復興本社について ④



③アーカイブ（環境再生・復興推進）※

④福島復興本社 代表定例会見 公表資料・動画

※流通促進活動の過去公表事例は、各公表資料をご確認ください

動画でみる福島復興の取り組み

福島県産品の美味しさ・魅力をお伝えします



⑤福島県産品の流通促進に向けた取り組み
(イベント情報・県産品の魅力発信)

(参考) 福島復興へ向けた取り組み「アーカイブページ」のご案内

③ アーカイブ：復興本社設立以降の活動を年ごとに整理されたページで確認

例：復興推進活動



④ 公表資料・動画：代表定例会見の過去の公表資料・会見の様子を確認



⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み：最新のイベント等を確認



Event&Topics		
開催案内	2024年3月29日～31日	シャル横浜店にて「ふくしまフェア」開催
開催案内	2024年3月22日～31日	上野恩賜公園 竹の台広場(噴水広場)にて「上野祭フェスタ 2024」開催
開催案内	2024年3月23日～24日	福島市農村マニファクチャー公園にて「PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里」開催
開催案内	2024年3月23日～25日	スーパーマーケットいわき地区24店舗にて「福島県産品フェア」開催
開催案内	2024年3月22日～24日	北野エース まるい食遊館志木店にて「福島県産米振興販売会」開催
開催案内	2024年3月20日～24日	大阪・扇町公園にて「発見！ふくしまお魚まつり」開催
開催案内	2024年3月16日～17日	ライトキューブ宇都宮 交流広場にて「SAKE FES」開催(終了しました)
開催案内	2024年3月15日～17日	スーパーマーケットいちいグループ (いちい10店舗、鎌倉屋2店舗)にて「発見！ふくしまフェア プレゼントキャンペーン」開催(終了しました)
開催案内	2024年3月15日～16日	ニュー・クイック18店舗にて「福島フェア」開催(終了しました)
開催案内	2024年3月16日～17日	渋谷キャスト・スペース・ガーデンにて「渋谷で福島！」開催(終了しました)
開催案内	2024年3月8日～13日	松板屋上野店にて「ふくしまフェア」開催(終了しました)
開催案内	2024年3月9日～10日	おかもちまちなみ広場にて「発見！ふくしまフェアinマちなみ広場」開催(終了しました)

本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。